2026年11月25日

2027年3月期中間期決算および中期経営計画の進捗

Accelerate'27



KURABO

本日のアジェンダ

01 中期経営計画「Accelerate’27」の概要

02 2027年3月期中間期 業績の概要

03 セグメント別の業績及び今後の見通し

04 2027年3月期 通期業績予想

05 「Accelerate’27」の進捗

06 資本収益性の向上に向けた取り組み

本日のアジェンダ

01 中期経営計画「Accelerate’27」の概要

02 2027年3月期中間期 業績の概要

03 セグメント別の業績及び今後の見通し

04 2027年3月期 通期業績予想

05 「Accelerate’27」の進捗

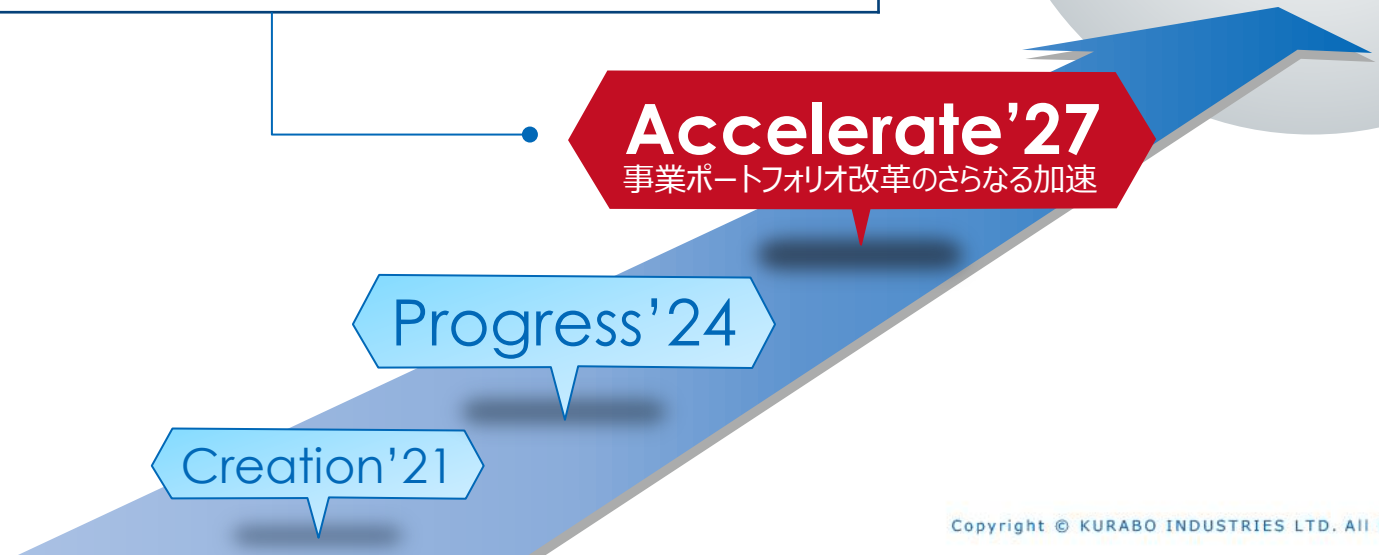
06 資本収益性の向上に向けた取り組み

中期経営計画「Accelerate'27」の骨子

基本方針	高収益事業の成長加速と経営資源の効率的な活用による企業価値の向上
重点施策	①成長市場に向けた注力事業の展開・加速と基盤事業の収益力強化 ②R&D活動の強化と新規事業の創出・収益化 ③サステナブル社会の実現への貢献 ④エンゲージメントの高い組織の構築
最終年度目標	●売上高：1,650億円 ●営業利益：130億円

長期ビジョン2030

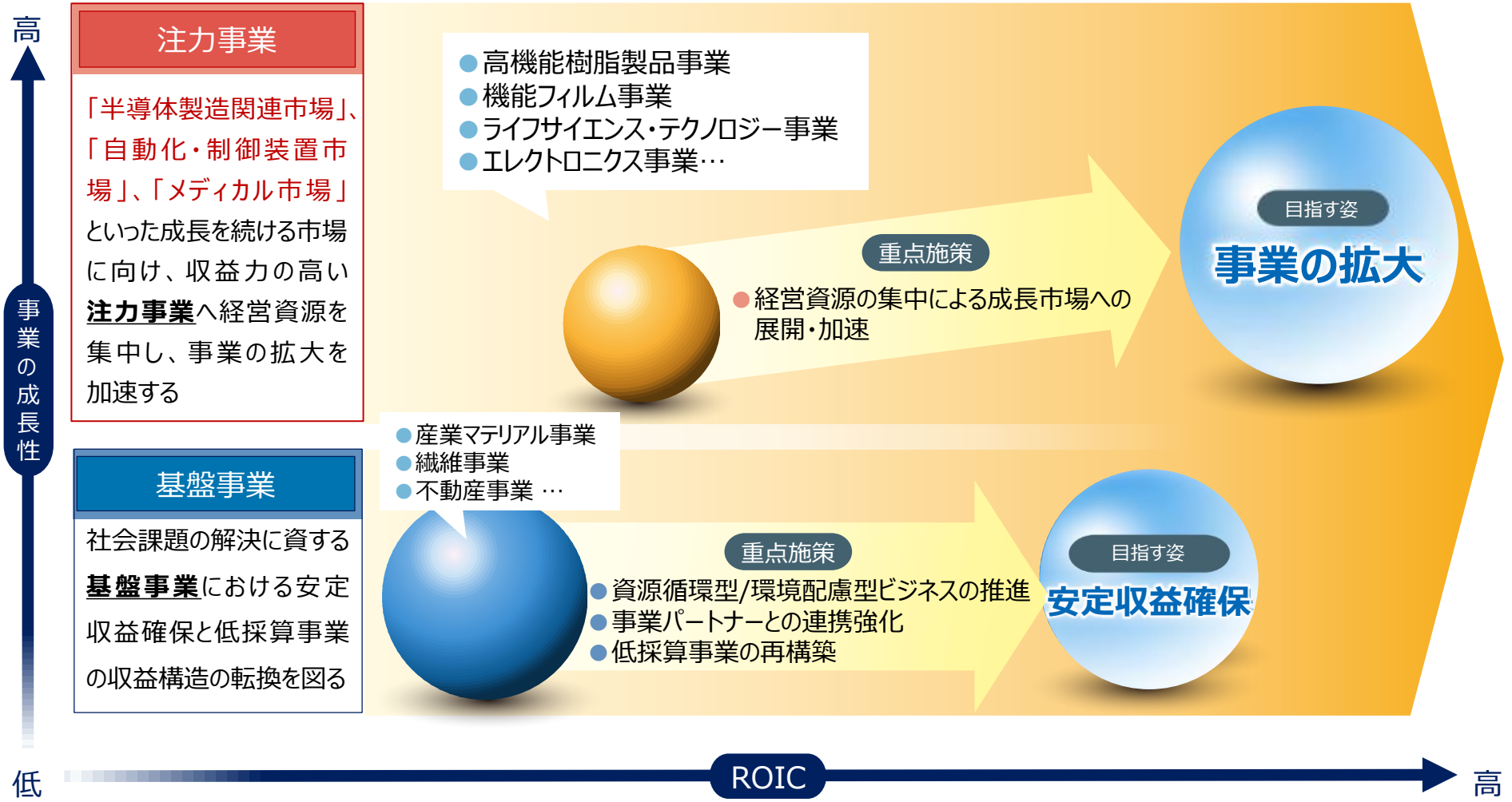
「イノベーションと高収益を生み出す事業体制への変革」の実現



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

目指すべき事業ポートフォリオのイメージ

収益性の高い注力事業へ経営資源を集中し、事業ポートフォリオ改革を加速する



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

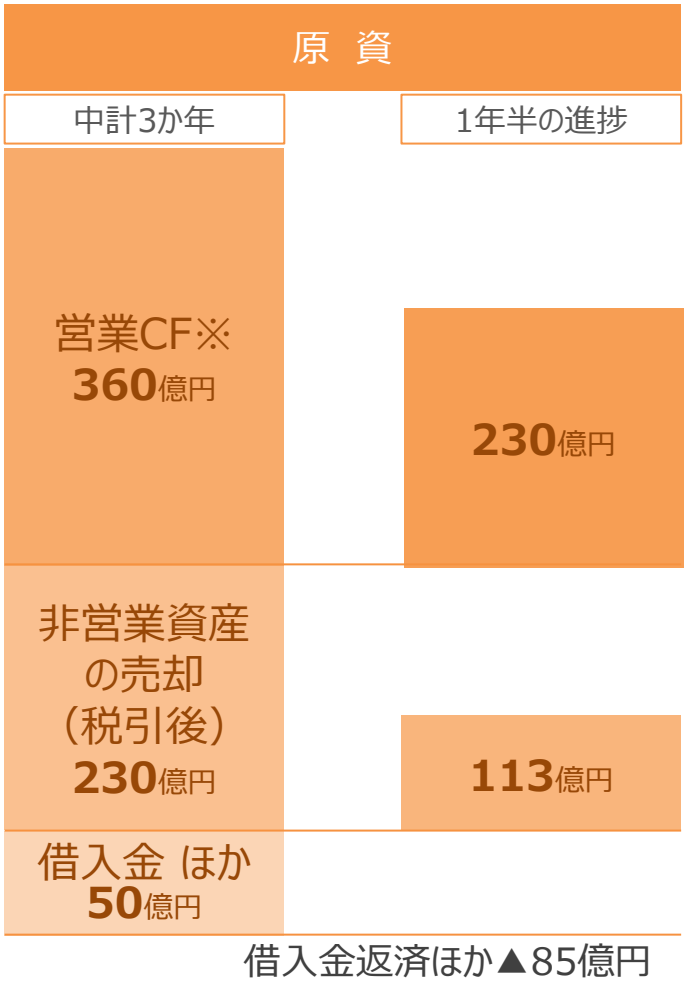
各セグメントと事業区分、注力領域との関係

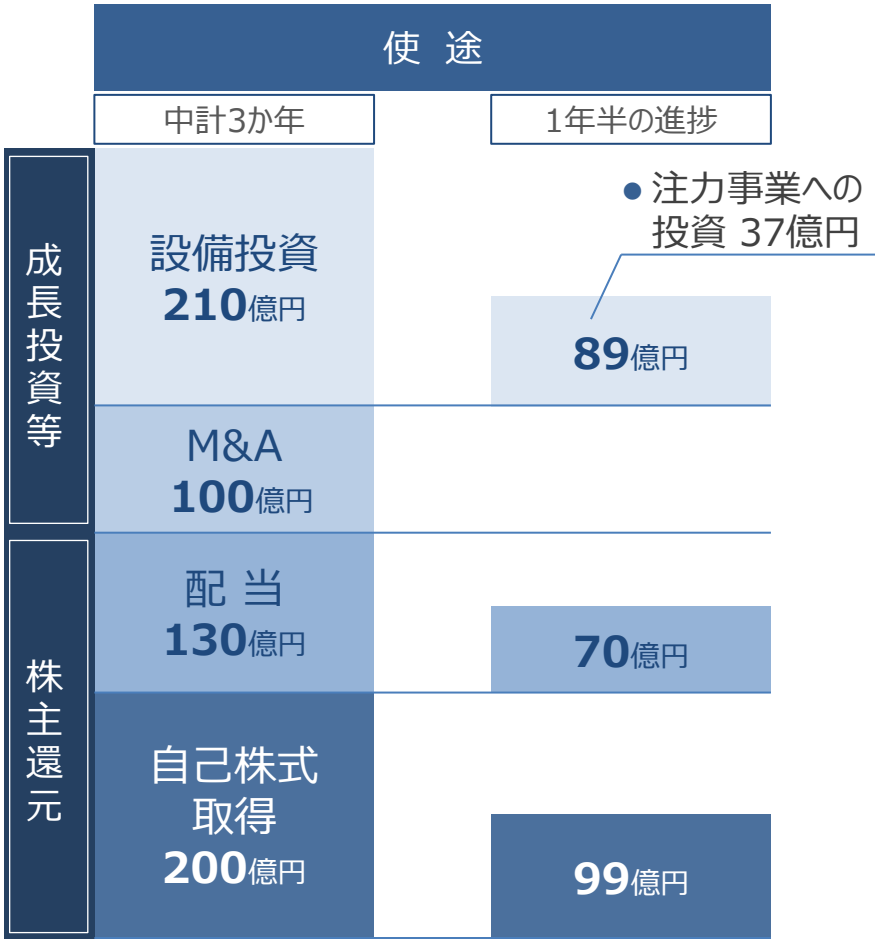
各セグメント	事業区分	主な製品・サービス	注力/基盤	注力領域
化成品	高機能樹脂製品	高機能樹脂加工品（フッ素、スーパーエンプラ）、フッ素樹脂素材、フィルタなど	注力	半導体製造関連
	機能フィルム	半導体工程フィルム（離型フィルム、ダイシングフィルムなど）	注力	半導体製造関連
		太陽電池向け封止材、各種高機能フィルム	注力	
	産業マテリアル	軟質ウレタン、断熱材、建材、不織布などの機能資材	基盤	
繊維	糸	高機能糸（機能性コットン糸NaTech）など	基盤	
	ユニフォーム	ユニフォーム高機能生地・製品（防炎・難燃素材ブレバノなど）、 暑熱リスク管理システム（スマートフィット）など		
	カジュアル	カジュアル向け高付加価値生地・製品など		
環境メカトロニクス	ライフサイエンス・テクノロジー	撹拌脱泡装置、遺伝子抽出装置・受託解析、ロボットビジョン、自動化装置（ラボ/ファクトリーオートメーション）など	注力	ライフサイエンス関連
	エレクトロニクス	液体成分濃度計など	注力	半導体製造関連
		インフラ検査装置、膜厚計など		
	エンジニアリング	ウェハー等洗浄装置、薬液供給装置など	注力	半導体製造関連
		環境関連設備（水処理、ガス処理、バイオマスなど）	基盤	
食品・サービス	食品	フリーズドライ食品	注力	ライフサイエンス関連
	サービス	複合文化施設（倉敷アイビースクエア）、自動車教習所	基盤	
不動産	不動産	不動産賃貸	基盤	

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

キャッシュ・アロケーション（進捗）

営業キャッシュフロー及び非営業資産の売却等により獲得した資金をもとに、中期3か年計画に沿った成長投資と株主還元を実施





※営業CFは、非営業資産の売却に伴う法人税等の影響を考慮している。

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

本日のアジェンダ

01 中期経営計画「Accelerate’27」の概要

02 2027年3月期中間期 業績の概要

03 セグメント別の業績及び今後の見通し

04 2027年3月期 通期業績予想

05 「Accelerate’27」の進捗

06 資本収益性の向上に向けた取り組み

業績ハイライト

- 好調な**半導体製造関連需要**を背景に**「化成品事業」が**想定を超えるペースで**拡大**し、**増額修正予想**（8/7公表）をさらに上回る**大幅な増収増益**を実現
- 各段階利益は**過去最高を更新**（中間期ベース）

売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
764億円	**59億円**	**72億円**	**85億円**
前年同期比 +10.4%	前年同期比 +50.4%	前年同期比 +49.6%	前年同期比 +33.5%
期初予想比 +7.7%	期初予想比 +84.7%	期初予想比 +72.5%	期初予想比 +61.7%
修正予想比 +0.6%	修正予想比 +28.5%	修正予想比 +29.4%	修正予想比 +17.4%

- **「環境メカトロニクス事業」**では**工事物件の前倒し**進捗が**増収に寄与**
- **「繊維事業」**は厳しい市場環境が続くも、**構造改革の効果が着実に出始める**
- 政策保有株式の計画的な売却を進め、**特別利益約58億円を計上**

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

第2四半期（中間期）業績の概要（全社）

（単位：百万円）	26/3期 第2四半期（中間期）実績	構成比	27/3期 第2四半期（中間期）実績	構成比	前年同期比	増減率	期初予想比	差異率	修正予想比（8/7公表）	差異率
売上高	69,245		76,451		+7,205	+10.4%	+5,451	+7.7%	+451	+0.6%
売上総利益	14,555	21.0%	17,135	22.4%	+2,580	+17.7%	-	-	-	-
販管費	10,625	15.3%	11,225	14.7%	+600	+5.6%	-	-	-	-
営業利益	3,929	5.7%	5,910	7.7%	+1,981	+50.4%	+2,710	+84.7%	+1,310	+28.5%
経常利益	4,843	7.0%	7,246	9.5%	+2,402	+49.6%	+3,046	+72.5%	+1,646	+29.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	6,421	9.3%	8,571	11.2%	+2,150	+33.5%	+3,271	+61.7%	+1,271	+17.4%
設備投資額	1,894		2,560		+666					
減価償却費	2,416		2,492		+76					

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

第2四半期（中間期）業績の概要（セグメント別）

	（単位：百万円）	26/3期 第2四半期（中間期）実績	利益率	27/3期 第2四半期（中間期）実績	利益率	前年同期比	増減率
化成品事業	売上高	29,869		37,558		+7,689	+25.7%
	営業利益	1,564	5.2%	3,650	9.7%	+2,086	+133.4%
繊維事業	売上高	22,131		20,461		△1,670	△7.5%
	営業利益	△524	△2.4%	△238	△1.2%	+286	-
環境メカトロニクス事業	売上高	10,044		11,139		+1,095	+10.9%
	営業利益	1,830	18.2%	1,486	13.3%	△343	△18.8%
食品･サービス事業	売上高	5,230		5,323		+93	+1.8%
	営業利益	369	7.1%	373	7.0%	+3	+0.9%
不動産事業	売上高	1,971		1,969		△2	△0.1%
	営業利益	1,245	63.2%	1,208	61.4%	△37	△2.9%

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

財務の状況

(単位：百万円)	26/3末	26/9末	増減	備考
流動資産	82,496	89,739	+7,243	
（現金及び預金）	(15,533)	(19,357)	(+3,823)	
固定資産	119,348	126,635	+7,287	
（有形・無形固定資産）	(46,060)	(45,944)	(△117)	
（投資その他の資産）	(73,287)	(80,691)	(+7,403)	投資有価証券(評価益)の増加
資産合計	**201,844**	**216,375**	**+14,530**	
流動負債	36,357	39,285	+2,928	
固定負債	31,812	33,785	+1,972	繰延税金負債の増加
負債合計	**68,170**	**73,071**	**+4,900**	
（借入金合計）	(6,972)	(6,864)	(△108)	
純資産	**133,674**	**143,304**	**+9,630**	その他有価証券評価差額金の増加
（株主資本）	(101,900)	(105,080)	(+3,180)	
負債・純資産合計	**201,844**	**216,375**	**+14,530**	

株価上昇の影響

自己資本比率	65.5%	65.6%	+0.1pt
ROE（自己資本純利益率）	10.2%	–	–
ROA（総資産営業利益率）	4.7%	–	–
ROIC（投下資本利益率）	4.6%	–	–

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）	26/3期 第2四半期 （中間期）	**27/3期 第2四半期 （中間期）**	備考
営業キャッシュ・フロー	9,028	4,340	
（減価償却費）	(2,416)	(2,492)	
（運転資本（※）の増減）	(3,549)	(△254)	※売上債権＋棚卸資産＋仕入債務
投資キャッシュ・フロー	△352	4,594	
（有形及び無形固定資産の取得による支出）	(△3,982)	(△2,836)	設備投資2,560百万円（計上額）
（投資有価証券の売却による収入）	(4,376)	(7,134)	政策保有株式の売却
財務キャッシュ・フロー	△8,735	△5,149	
（借入金の純増減額）	(△3,843)	(△197)	
（自己株式の取得による支出）	(△2,901)	(△2,787)	
（配当金の支払額）	(△2,042)	(△2,678)	
現金及び現金同等物増加額	△181	3,834	
現金及び現金同等物の中間期末残高	**14,977**	**19,333**	

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

本日のアジェンダ

01 中期経営計画「Accelerate’27」の概要

02 2027年3月期中間期 業績の概要

03 セグメント別の業績及び今後の見通し

04 2027年3月期 通期業績予想

05 「Accelerate’27」の進捗

06 資本収益性の向上に向けた取り組み

セグメント別業績　化成品事業

第2四半期（中間期）業績の概要

生成AIの普及などによるデータセンター向け需要拡大に伴う半導体市場の伸長を背景に、「高機能樹脂製品」「機能フィルム」の受注が好調。「産業マテリアル」も自動車向け軟質ウレタン、断熱材、不織布の受注が順調に推移。原料価格高騰に対して価格転嫁も進め、大幅な増収。

サブセグメントの状況

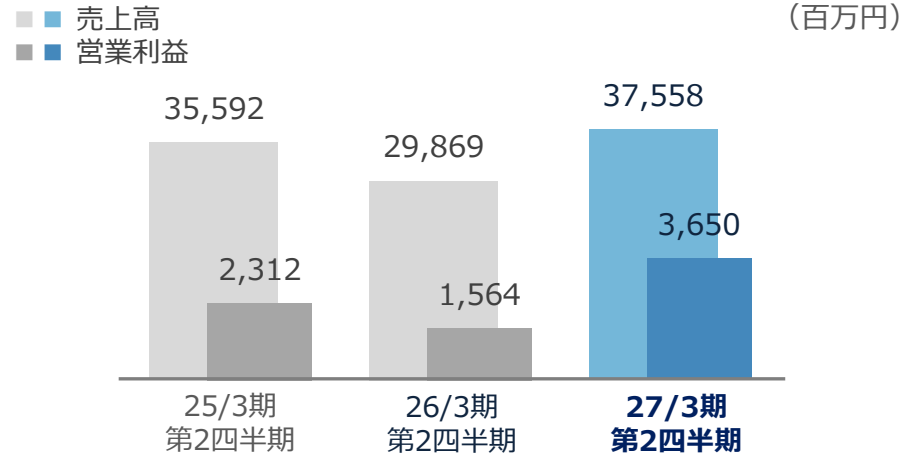
高機能樹脂製品　半導体製造装置関連の需要拡大により、受注が大幅に増加。

機能フィルム　半導体工程向けフィルムの受注が拡大。太陽電池封止材も好調に推移。

産業マテリアル　自動車内装材向け軟質ウレタン、断熱材、自動車フィルター向け不織布の受注が順調に推移。

	26/3期 第2四半期	**27/3期 第2四半期**	増減
高機能樹脂製品	6,998	**11,943**	+4,944
機能フィルム	4,770	**5,980**	+1,209
産業マテリアル	21,247	**23,101**	+1,854
消去ほか	△3,148	**△3,466**	△318
合計	29,869	**37,558**	+7,689

売上高・営業利益 推移



今後の業績見通し（2027/3期 業績予想）

売上高　**740億円**　**営業利益**　**63億円**

半導体製造関連（高機能樹脂製品、機能フィルム）が年間を通じて業績の伸びを大きくけん引

- □「高機能樹脂製品」はAI・データセンター向け需要拡大を背景に受注が増加。生産設備の増強、人員確保・育成などにより供給能力の拡大を図る。
- □「機能フィルム」は需要が旺盛な太陽電池封止材や半導体工程向けフィルムが好調に推移する見込み。需要拡大への対応として生産設備の増強を進める。
- □「産業マテリアル」は自動車向け軟質ウレタンや不織布、断熱材の販売拡大に加え、引き続き価格転嫁や生産性改善に取り組む。

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

セグメント別業績　繊維事業

第2四半期（中間期）業績の概要

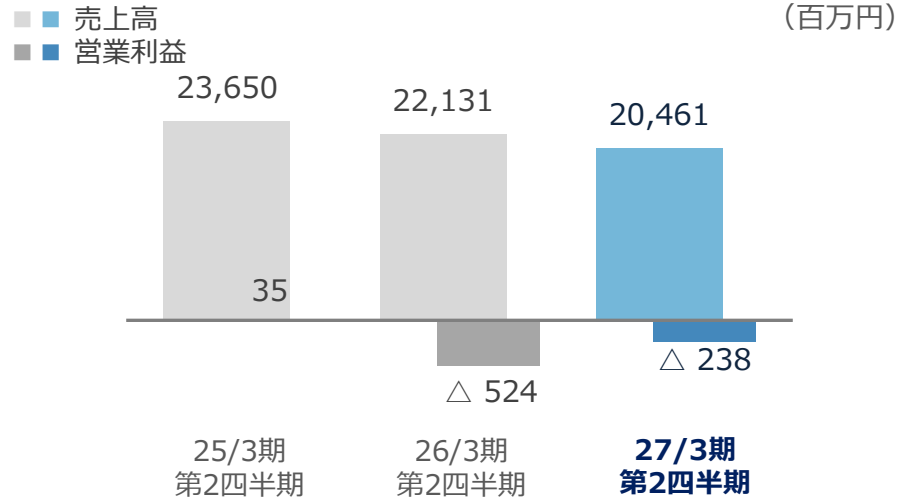
「ユニフォーム」は防炎素材が堅調に推移する一方、「糸」はブラジル子会社のニット向け原糸、「カジュアル」は国内SPA向け製品の受注が減少し、事業全体で減収。不採算ビジネスからの撤退などもあり、営業損失は縮小。なお、ブラジル子会社については厳しい市場環境が継続。

サブセグメントの状況

糸	高機能製品「NaTech（ネイテック）」などの国内販売が堅調に推移。一方、ブラジル子会社のニット向け原糸の受注が減少。
ユニフォーム	「BREVANO（ブレバノ）」などの防炎素材が堅調に推移。
カジュアル	国内SPA向け製品の受注が減少したことに加え、不採算ビジネスからの撤退も影響。

	26/3期 第2四半期	**27/3期 第2四半期**	増減
糸	9,085	**8,984**	△101
ユニフォーム	5,454	**5,768**	＋313
カジュアル	10,347	**9,113**	△1,234
消去ほか	△2,756	**△3,404**	△648
合計	22,131	**20,461**	△1,670

売上高・営業利益 推移



今後の業績見通し（2027/3期 業績予想）

売上高 **446億円**　　**営業利益** **2億円**

カジュアルの構造改革効果により年間では黒字化の計画

- □「糸」は、「NaTech」は回復基調となるものの、エアーフレイクは低調。好調なデニム原糸などの受注確保、生産性向上に取り組む。
- □「ユニフォーム」は、ワーキング分野は在庫調整の影響を受ける一方、企業別注が伸長。
- □「カジュアル」は、国内カジュアルの販売が伸び悩む一方、不採算ビジネスの縮小や販管費削減などにより収益改善を図る。

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

セグメント別業績　環境メカトロニクス事業

第2四半期（中間期）業績の概要

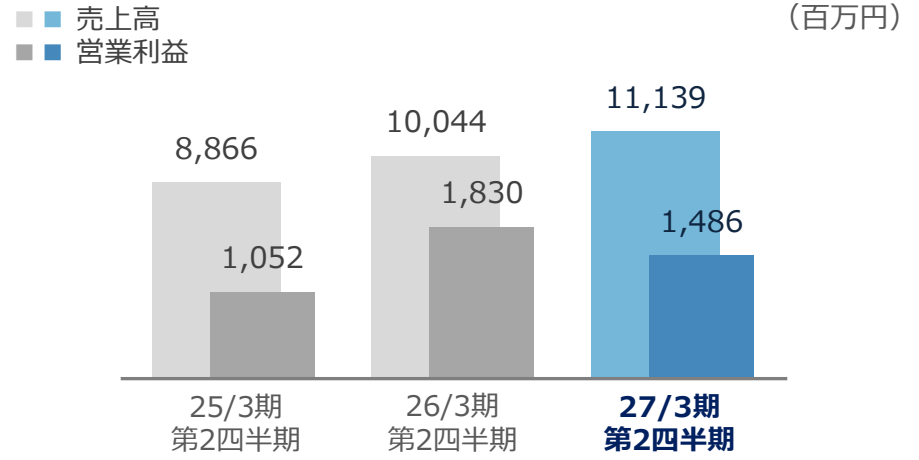
「エンジニアリング」は、医薬品製造業界向け設備や半導体製造関連装置などが好調。「エレクトロニクス」は液体成分濃度計が堅調も、膜厚計などの販売が減少。「ライフサイエンス・テクノロジー」もFA装置の受注が減少し、事業全体では増収確保も、高採算品の減少などにより減益。

サブセグメントの状況

ライフサイエンス・テクノロジー	バイオ関連製品が堅調に推移したものの、子会社のFA装置の受注が減少。
エレクトロニクス	半導体製造装置向け液体成分濃度計が堅調に推移。一方、膜厚計や鉄道業界向けインフラ検査システムの販売が減少。
エンジニアリング	医薬品製造業界向け設備の受注が好調。プラント・設備工事や半導体製造関連装置も順調に推移。

	26/3期 第2四半期	**27/3期 第2四半期**	増減
ライフサイエンス・テクノロジー	2,425	**2,277**	△147
エレクトロニクス	3,764	**3,303**	△461
エンジニアリング	5,067	**6,228**	+1,161
消去ほか	△1,212	**△670**	+542
合計	10,044	**11,139**	+1,095

売上高・営業利益 推移



今後の業績見通し（2027/3期 業績予想）

売上高 **260億円**　　**営業利益** **36億円**

通期でも減益となるが、高い利益水準を維持

- □「ライフサイエンス・テクノロジー」は、ラボオートメーションで受注遅れが発生する一方、撹拌脱泡装置の海外向けやFA装置が増加。
- □「エレクトロニクス」は、膜厚計の受注が減少する一方、半導体製造装置向け液体成分濃度計が好調。基板検査の大型案件も寄与。
- □「エンジニアリング」は、排水処理設備は低調なものの、排ガス処理設備や半導体関連装置、焼却・バイオマス等の受注が増加。

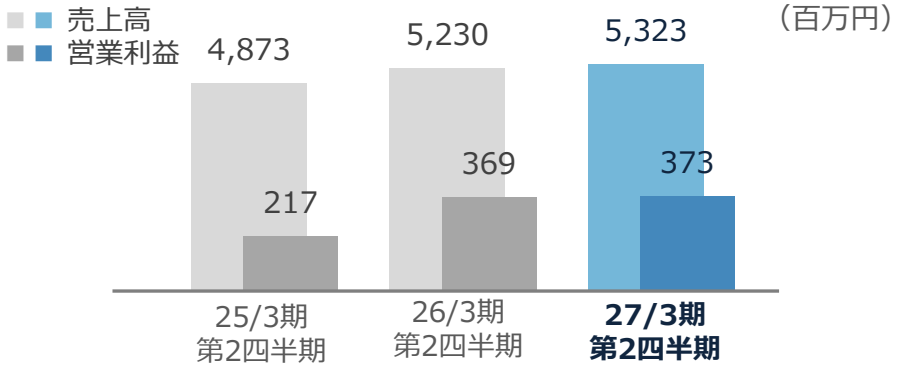
Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

セグメント別業績　食品・サービス事業、不動産事業

第2四半期（中間期）業績（食品・サービス）

食品は即席麺具材の受注は堅調だが、シリアル向けの販売減などにより減収。サービスのホテル関連は国内旅行やインバウンド需要の取り込みなどにより増収。全体として増収、利益は労務費増もあり前年同期並み。

売上高・営業利益 推移



今後の業績見通し（2027/3期 業績予想）

売上高	115億円	営業利益	9億円

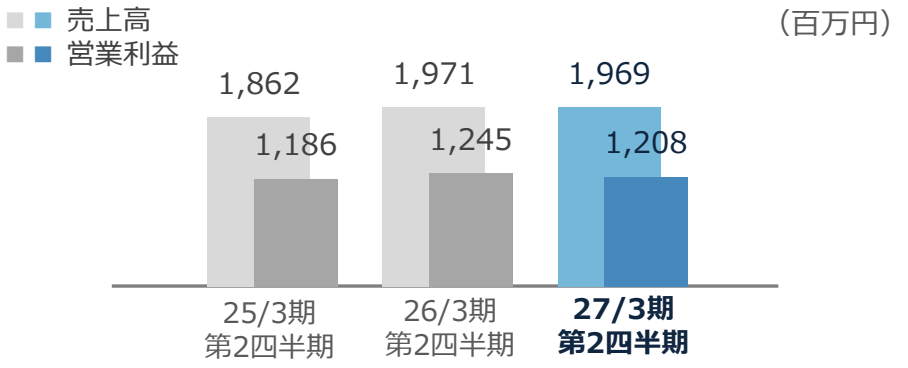
□「食品」は、引き続き即席麺が順調に推移、スープも既存顧客向けの拡販や新規顧客開拓が進む。差別化商品の開発と輸出を含めた新市場開拓の基盤づくりに注力。

□「サービス」のホテル関連は客室稼働率、客室単価ともに前期並みの高水準を維持する見通し。

第2四半期（中間期）業績（不動産）

不動産賃貸は売上高が前年同期並みとなったものの、修繕費などの増加により減益。

売上高・営業利益 推移



今後の業績見通し（2027/3期 業績予想）

売上高	39億円	営業利益	22億円

引き続き、堅調に推移する見込み。

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

本日のアジェンダ

01 中期経営計画「Accelerate’27」の概要

02 2027年3月期中間期 業績の概要

03 セグメント別の業績及び今後の見通し

04 2027年3月期 通期業績予想

05 「Accelerate’27」の進捗

06 資本収益性の向上に向けた取り組み

2027年3月期 通期業績予想

政策保有株の売却額の上振れにより、当期純利益のみ通期業績予想を修正（11/12公表）

（単位：百万円）	26/3期 通期実績	構成比	27/3期 通期予想 期初予想	構成比	修正予想（8/7）	構成比	今回予想（11/12）	構成比	前期比	増減率
売上高	143,758		154,000		160,000		160,000		+16,242	+11.3%
営業利益	9,182	6.4%	11,200	7.3%	12,000	7.5%	12,000	7.5%	+2,818	+30.7%
経常利益	11,071	7.7%	12,500	8.1%	13,300	8.3%	13,300	8.3%	+2,229	+20.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,876	9.0%	13,000	8.4%	14,800	9.2%	22,500	14.1%	+9,624	+74.7%
設備投資額	5,075		7,600		–		7,400		+2,325	
減価償却費	5,017		5,300		–		5,000		△17	

需要が拡大している「高機能樹脂製品」が牽引し、大幅な増収・増益を計画。各段階利益は2期ぶりに最高益を更新。
「Accelerate'27」最終年度の業績目標達成に向け、「成長フェーズ」へシフト。

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 通期業績予想：セグメント別

（単位：百万円）

		26/3期 通期実績		27/3 通期予想 期初予想		27/3 通期予想 今回予想（11/12）		前期比	
			利益率		利益率		利益率		増減率
化成品事業	売上高	62,654		68,000		74,000		+11,346	+18.1%
	営業利益	4,154	6.6%	5,500	8.1%	6,300	8.5%	+2,146	+51.7%
繊維事業	売上高	43,276		45,600		44,600		+1,324	+3.1%
	営業利益	△897	△2.1%	400	0.9%	200	0.4%	+1,097	–
環境メカトロニクス事業	売上高	22,716		25,000		26,000		+3,284	+14.5%
	営業利益	3,867	17.0%	3,400	13.6%	3,600	13.8%	△267	△6.9%
食品・サービス事業	売上高	11,145		11,500		11,500		+355	+3.2%
	営業利益	885	7.9%	900	7.8%	900	7.8%	+15	+1.7%
不動産事業	売上高	3,965		3,900		3,900		△65	△1.6%
	営業利益	2,299	58.0%	2,200	56.4%	2,200	56.4%	△99	△4.3%

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

株主還元方針（「Accelerate'27」期間の目標値）

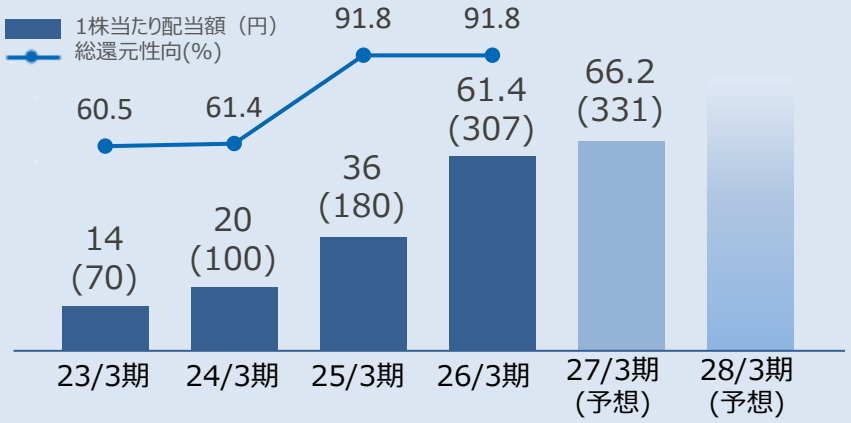
- 配当政策：株主資本配当率（DOE）4%
- 自己株式の取得：200億円

2027年3月期 配当額予想

年間配当 **66.2円/株**（前期比 **＋4.8円/株**）
の増配を予定（株式分割考慮後*）

- 中間配当 33.2(166)円/株
- 期末配当予想 33.0円/株

1株当たり配当額の推移



自己株式取得・消却

自己株式の取得実施 完了
（※2025年11月11日付け取締役会決議に基づく）

- 取得株式総額：6,999百万円
  （うち当期取得2,782百万円）

自己株式の取得および消却（新規）

自己株式取得に係る事項を決議（2026年11月24日）

- 取得
  - 取得株式総数：3,500千株
  - 取得株式総額：**7,192百万円**
- 消却
  - 消却株式総数：5,000千株
  - 消却予定日　：2026年12月15日

*2026年10月1日で実施した株式分割（5分割）を踏まえ、過去に遡り調整した金額
カッコ内は分割前の1株当たり配当金

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

本日のアジェンダ

01 中期経営計画「Accelerate’27」の概要

02 2027年3月期中間期 業績の概要

03 セグメント別の業績及び今後の見通し

04 2027年3月期 通期業績予想

05 「Accelerate’27」の進捗

06 資本収益性の向上に向けた取り組み

数値目標

（基準年度）　　（最終年度）

【全社目標】

（単位：億円）

	25/3期 実績 ①	26/3期 当初計画	26/3期 実績	27/3期 当初計画	27/3期 今回公表	28/3期 計画 ②	増減 ②－①
売上高	1,506	1,440	1,437	1,520	1,600	1,650	＋143
営業利益	103	80	91	112	120	130	＋26
経常利益	117	95	110	120	133	130	＋12
親会社株主に帰属する当期純利益	90	95	128	100	225	110	＋19
売上高営業利益率	6.8%	5.6%	6.4%	7.4%	7.5%	7.9%	＋1.1pt
ROE（自己資本純利益率）	7.6%	8.0%	10.2%	9.0%	17.0%	10.0%	＋2.4pt
ROA（総資産営業利益率）	5.4%	4.3%	4.7%	6.2%	5.8%	7.5%	＋2.1pt
ROIC（投下資本利益率）	5.5%	4.4%	4.6%	6.4%	5.8%	7.9%	＋2.4pt

【事業別目標】

（単位：億円）

		実績 ①	当初計画	実績	当初計画	今回公表	計画 ②	②－①	CAGR
化成品事業	売上高	660	640	626	680	740	740	＋79	＋3.9%
	営業利益	50	39	41	55	63	60	＋9	＋6.1%
繊維事業	売上高	485	435	432	450	446	490	＋4	＋0.3%
	営業利益	0	△7	△8	6	2	12	＋11	＋152.0%
環境メカトロニクス事業	売上高	219	222	227	240	260	270	＋50	＋7.2%
	営業利益	33	30	38	34	36	40	＋6	＋6.2%
食品・サービス事業	売上高	104	105	111	112	115	112	＋7	＋2.3%
	営業利益	7	7	8	7	9	8	＋0	＋3.4%
不動産事業	売上高	37	38	39	38	39	38	＋0	＋0.7%
	営業利益	22	22	22	22	22	22	△0	△0.6%

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

中期経営計画「Accelerate'27」の進捗

	主な重点施策	評価	主な活動実績
化成品事業	半導体製造関連やエネルギー関連市場へ向けた高機能樹脂製品・機能フィルム事業への経営資源集中と事業拡大加速	◎	• 熊本イノベーションセンターの操業が本格化、寝屋川工場の生産エリア拡張にも取り組む。フッ素成型素材の生産開始など、「高機能樹脂製品」の生産・開発体制を増強。「高機能樹脂製品」「機能フィルム」の受注が好調に推移。 • エネルギー関連市場向け太陽電池封止材用途は量産安定化により収益性が改善。半導体製造関連では後工程で使用されるフィルムの拡販が進展。
	自動車や住宅関連市場向け産業マテリアル分野における新規ビジネスの展開と市場への深耕	○	• 「住宅用建材」は、住宅省エネ基準への適合義務化を背景にウレタン断熱材が好調。既存の住宅市場に加え、非住宅の建築市場への新用途展開や、冷凍・保冷分野への販売拡大、新商品の拡販など、新たな市場の開拓を推進。
繊維事業	最終ユーザーのニーズに基づく独自技術の開発推進と独自技術商品の販売拡大	△	• 原料改質技術を活用した高機能コットン糸「NaTech(ネイテック)」は、中計目標未達。新機能開発やスポーツ分野などへの用途拡大を推進する。 • 防炎・難燃素材は、販路拡大を推進するも、原料価格の高騰などもあり、中計目標は未達。 • 大手繊維素材メーカー等との共同プロジェクト「繊維 to 繊維」が、NEDOの「バイオものづくり革新推進事業」に採択。同プロジェクトを進めるコンソーシアムCFT2（Consortium for Fiber to Fiber）の設立に参画。
	海外製造拠点を軸としたグローバルサプライチェーンの構築	○	• 2025年7月末に安城工場閉鎖。ASEAN子会社への生産移管が進捗。インドネシア子会社の中部ジャワへの工場移転が進み、海外生産体制の安定化が進展。
環境メカトロニクス事業	半導体関連事業、ライフサイエンス・テクノロジー事業の成長加速	△	• 半導体製造関連では、液体成分濃度計が好調に推移。外注先との連携など供給体制の強化を推進。ウェハー洗浄装置も順調に推移。 • 「ライフサイエンス・テクノロジー」では、バイオ関連製品が堅調に推移。FA装置は受注時期の遅れがある一方、遺伝子解析工程の自動化など事業基盤の強化を推進。
	社会課題の解決に資する環境やインフラ関連ビジネスなどの市場開拓と収益力強化	○	• 鉄道向け軌道材料（レール・枕木等）検査システムは受注拡大。新幹線の他、JR在来線、私鉄へも展開。 • 新エネルギー（水素、アンモニア）対応の工業炉向け脱硝装置の開発および最終製品化へ。

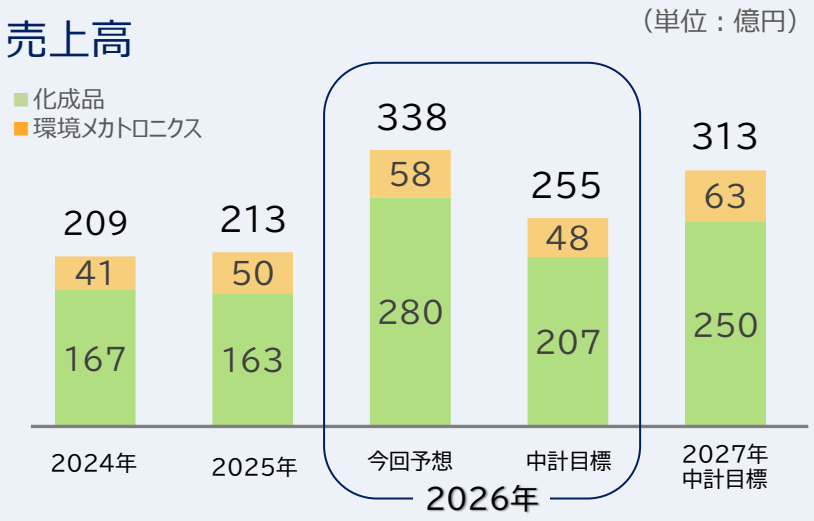
Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

事業ポートフォリオ戦略　成長領域における事業展開

半導体製造関連

＜2026年度見通し＞

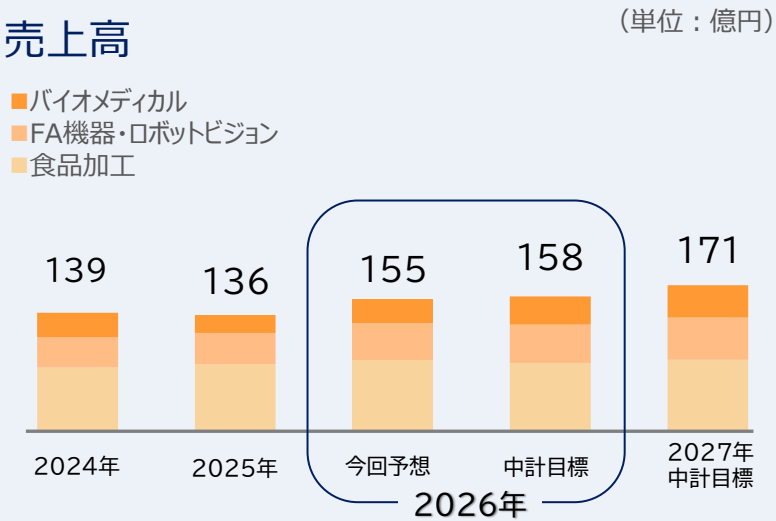
生成AIの普及などを背景に半導体市場が拡大し、「高機能樹脂製品」「機能フィルム」の受注が好調。半導体製造関連装置やウェハー洗浄装置も堅調に推移し、2026年度は中計目標を大幅に上回る見通し。



ライフサイエンス関連

＜2026年度見通し＞

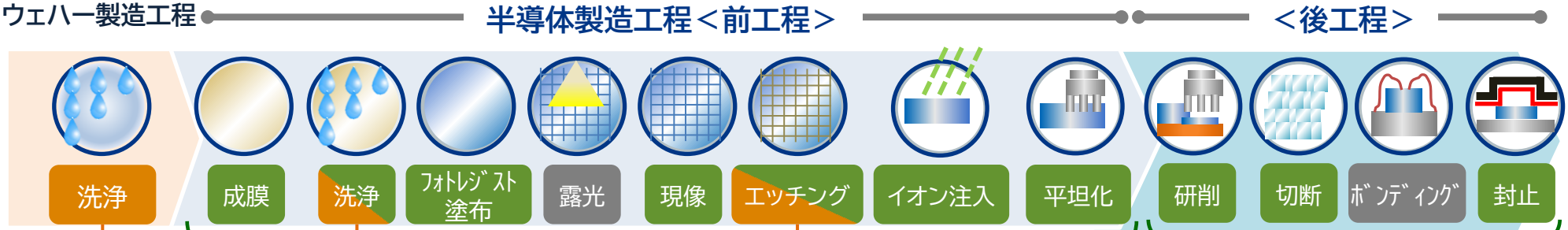
バイオ関連製品は堅調に推移する一方、FA装置は受注減少の影響を受ける。2026年度は売上拡大を見込むものの、中計目標は若干の未達。食品加工は堅調に推移。



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

事業ポートフォリオ戦略　高機能樹脂製品事業（１）

高機能樹脂製品事業：市場拡大が続くウェハー/半導体製造工程向けに幅広い製品を提供



環境メカトロニクス事業

ウェハー製造工程



ウェハー洗浄装置



薬液供給装置

半導体製造工程＜前工程＞



液体成分濃度計

化成品事業

半導体製造工程＜前工程＞



高機能樹脂製品

前工程の各装置用部品に使用。PTFEやPFAなど、様々な樹脂を多種多様な技術で加工することで、半導体製造装置の搭載部品、またポンプ・バルブなどの機器構成部品を生産。切削、成形、溶接、溶着加工に加えて、表面処理、洗浄などの二次加工にも対応。

半導体製造工程＜後工程＞

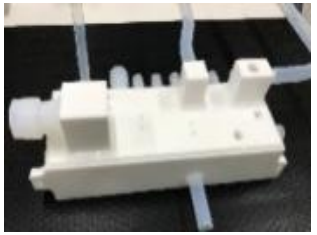


機能フィルム

独自の樹脂配合と構成で、ダイシングテープ用フィルムやパッケージ離型フィルムなど、半導体製造工程で求められる高度な要求性能に対応した製品を展開。AI向け広帯域メモリー（HBM）など、先端分野で用途を拡大している。

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

高機能樹脂製品事業のサプライチェーンと当社グループの強み

			製造拠点
原 料		• フッ素樹脂 • PEEKなど	
素材成型		• 素材成型 ➢ シート材 ➢ 大型リング素材 ➢ フィルム	• 寝屋川工場 • 協力企業
樹脂加工		• 切削 • 溶融成形 • 表面処理 • 溶接・溶着	• グループ会社 • 協力企業
洗浄・検査		• 洗浄 • 検査 • 評価 • 計測 • 材料情報	• 熊本イノベーションセンター • 寝屋川工場（新棟）
半導体製造装置			

開発・設計
- 熊本イノベーションセンター
- 寝屋川工場

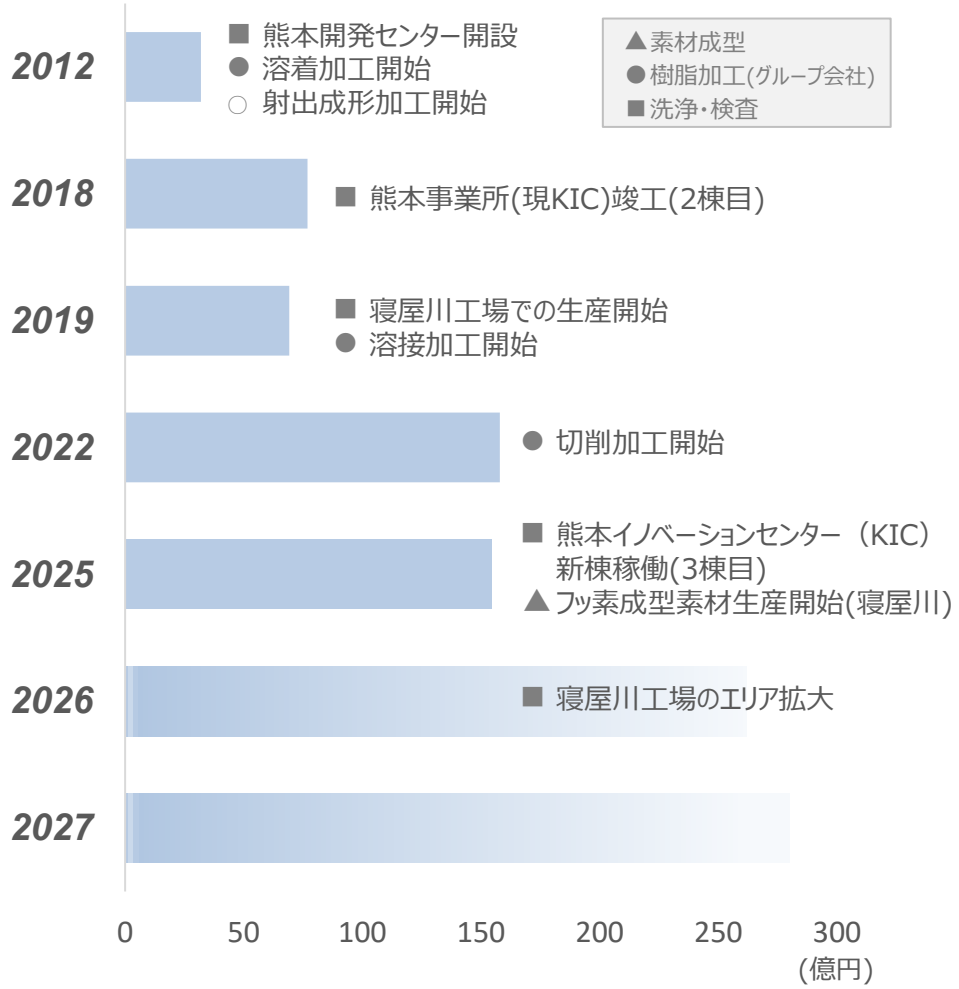
強み
- ◆ 様々な樹脂への対応力
- ◆ 多様な加工技術とその複合技術
- ◆ 精密加工技術
- ◆ 高精度な分析・評価力
- ◆ 洗浄技術を含むクリーン化への対応力

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

事業ポートフォリオ戦略　高機能樹脂製品事業（３）

事業の拡大に伴い、生産・開発体制を強化

高機能樹脂製品　売上高推移



寝屋川工場　新棟 建設決定

半導体市場の成長を捉え、
供給能力増強とBCP体制強化

- 投資額　約45億円
- 生産能力増強　生産エリア約2.8倍
- 品質対応力強化
  クリーン度の大幅な向上
  DX・自動化による生産性向上
- BCP対応強化　熊本との2拠点体制を整備
- スケジュール
  2027年度 着工、2028年度 操業開始予定



＜寝屋川工場新棟 完成予想図＞

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

バイオメディカル関連技術 × 自動化技術で、人に依存する作業を自動化

技術基盤

バイオ関連技術
- •遺伝子・細胞
- •撹拌脱泡

食品加工技術

技術融合

自動化技術
- •ビジョン センシング
- •ロボティクス
- •LA／FA

適用領域

研究・医療分野
- ・遺伝子受託解析
- ・3次元培養モデル
- ・ラボオートメーション

製造現場
- ・ファクトリーオートメーション
- ・3Dビジョンカメラ
- ・双腕ロボット

提供価値

研究・医療・製造現場の省人化・
高精度化ニーズを取り込み、事業領域を拡大

スマートバイオラボ 開設予定

自社の遺伝子解析工程を自動化し、
実運用で培った技術・ノウハウを
ラボオートメーションの提案に展開

■解析能力増強：
解析室を約2.5倍に拡張

■自動化・省人化：
協働ロボット・自動分注機導入

■顧客提案に展開：実運用で培った
ノウハウをデモルームで提案


＜スマートバイオラボ＞


＜協働ロボット＞

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

タウンズ社との資本業務提携により、ライフサイエンス・テクノロジー事業の成長を加速



取締役会決議日	2026年11月12日
株式譲渡実行日	2026年11月30日(予定)
取得価額	133.4億円
取得株式数	2,160万株(議決権所有割合：20.27%)

業務提携	① ライフサイエンス関連製品に関する共同研究開発 ② 両社保有の技術、設備等を相互に活用した新製品・新サービスの開発 ③ 国内外における市場開拓及び事業機会創出等の販売活動に関する相互協力 ④ 人材交流その他の協業推進施策の実施による相互事業基盤の強化 等

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

本日のアジェンダ

01 中期経営計画「Accelerate’27」の概要

02 2027年3月期中間期 業績の概要

03 セグメント別の業績及び今後の見通し

04 2027年3月期 通期業績予想

05 「Accelerate’27」の進捗

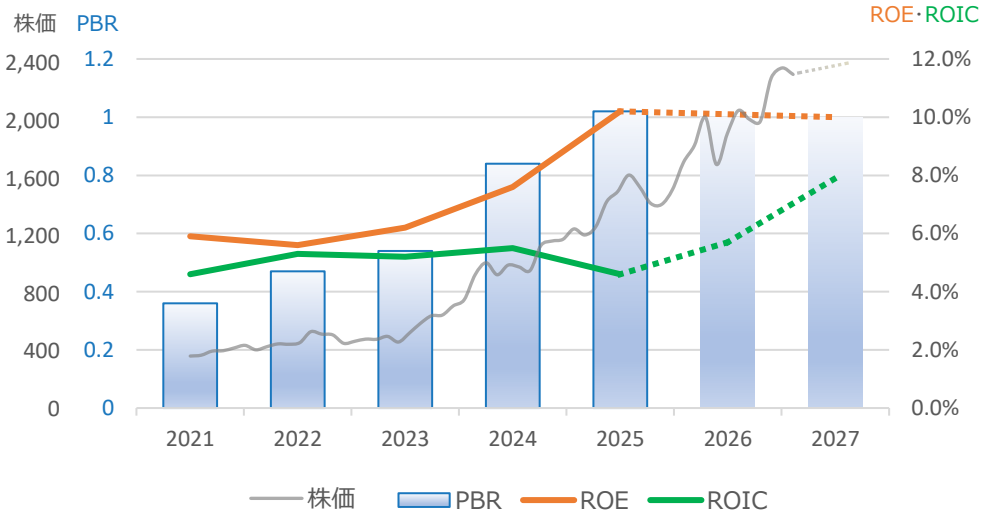
06 資本収益性の向上に向けた取り組み

資本収益性の向上に向けた進捗

現状認識

2022年度末と比較すると株価は４倍となり、2026年10月には過去最高値を更新した。その後も概ね2,000円前後（分割調整後）を維持しており、市場からはPBR1倍超を前提とした評価が定着していると認識。

【過去5年間の株価、PBR、ROE、ROICの推移】



	【2022年度末】		【現状】
株価	479円	»	2,000円前後
PER	9.66倍	»	10.76倍 (2026年3月末)
			【中計目標(2027年度末)】
PBR	0.54倍	»	1倍以上
ROE	6.2%	»	10.0%
ROIC	5.3%	»	7.9%

今後の方針

株主資本コストはリスクフリーレートの上昇に伴い、CAPM等の手法を基に8%を中心としたレンジまで上昇したと把握しているものの、株主の期待するリターンは更に高いものと認識しており、「Accelerate'27」の目標である**ROE10%以上の維持**や**IR活動の充実**などを通して、安定的に**PBR1倍以上**の水準を目指す方針

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

機関投資家との個別リレーション面談における主なQ&A(事業面以外)の事例紹介

Q. 業況は堅調に推移しているが、株主還元の方針に変更はないのか？

A. 当社では、現行の中期経営計画「Accelerate’27」期間中の株主還元方針として、①株主に対する配当が、企業の重要課題の一つであるとの認識に立ち、継続的・安定的な高水準の利益還元を基本として、2025年度の1.5倍に当たる**株主資本配当率（DOE）4%を　目標とした配当の実施**、②自己資本を積み増さないためにも政策保有株式の縮減で得た資金を原資とした**200億円の自己株式の取得**、を公表しています。

本方針につきましては、「Accelerate’27」の中間点を過ぎた**現時点での変更は考えていません。**

Q. 政策保有株式の残高が減っていないが、中期経営計画「Accelerate’27」で掲げたキャッシュ・アロケーションの進捗状況はどうなっていて、見直しは行わないのか？

A. 「Accelerate’27」で掲げたキャッシュ・アロケーションは、原資の営業キャッシュフローや政策保有株式等の非営業資産売却は**堅調に進捗**しており、使途の投資や株主還元につきましても**概ね計画通り進んでいます。**

なお、本キャッシュ・アロケーションの前提として、政策保有株式を連結純資産の**20%未満とする方針を計画に織り込みました**が、昨今の株式市場の高騰から、金額面で前提と乖離が進んでいます。しかしながら、当社としましては、キャッシュ・アロケーション、政策保有株式の売却とも、**先ずは当初の方針・目標を変更することなく、目標クリアを目指します。**

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

機関投資家との個別リレーション面談における主なQ&A(事業面以外)の事例紹介

Q. 6月の定時株主総会において、「当社株式等の大規模買付行為に関する対応策」廃止の株主提案がなされ、結果、否決されたものの、賛成比率も一定数あったことについてどう受け止めているか？

A. 当社は、**「合理的な理由なく、買収提案を拒んではならない」という経産省の指針に則った上**で、当社グループの企業価値を毀損し、特定の投資家だけが利益を得るような買付行為か否かを、株主の皆様が適切に判断するための**情報と時間を確保するための手続き・ルール**を定めた同対応策を導入しています。**これは、株主様の共同の利益を守るという趣旨に基づくものです。**

同対応策の導入に関して賛成比率数が低下してきていることや、反対の理由・考え方についても認識していますが、一方で、市場の声として、対応策の導入の目的をご理解いただき、一定以上の賛成もいただいている中で、当社としては、**引き続き株主様の共同の利益を守ることを優先事項として対応**してまいりたいと考えています。

Q. 取締役会の実効性評価の課題と今後のアクションプランについて、詳しく教えてほしい。

A. 取締役会の実効性につきましては、**毎年アンケート形式で各取締役に確認し、外部機関と連携の上、分析・評価**を行っています。その結果、取締役会の運営・審議状況は概ね適切であり、取締役会の実効性は概ね確保されていると認識していますが、**①事業部を超えた中長期の全社方針の議論深化や、②事前説明の充実、③リスクの把握・BCP見直し、④役員に求められるスキルの明確化**、といったところについては、更に対応の強化や開示を進めてまいりたいと考えています。

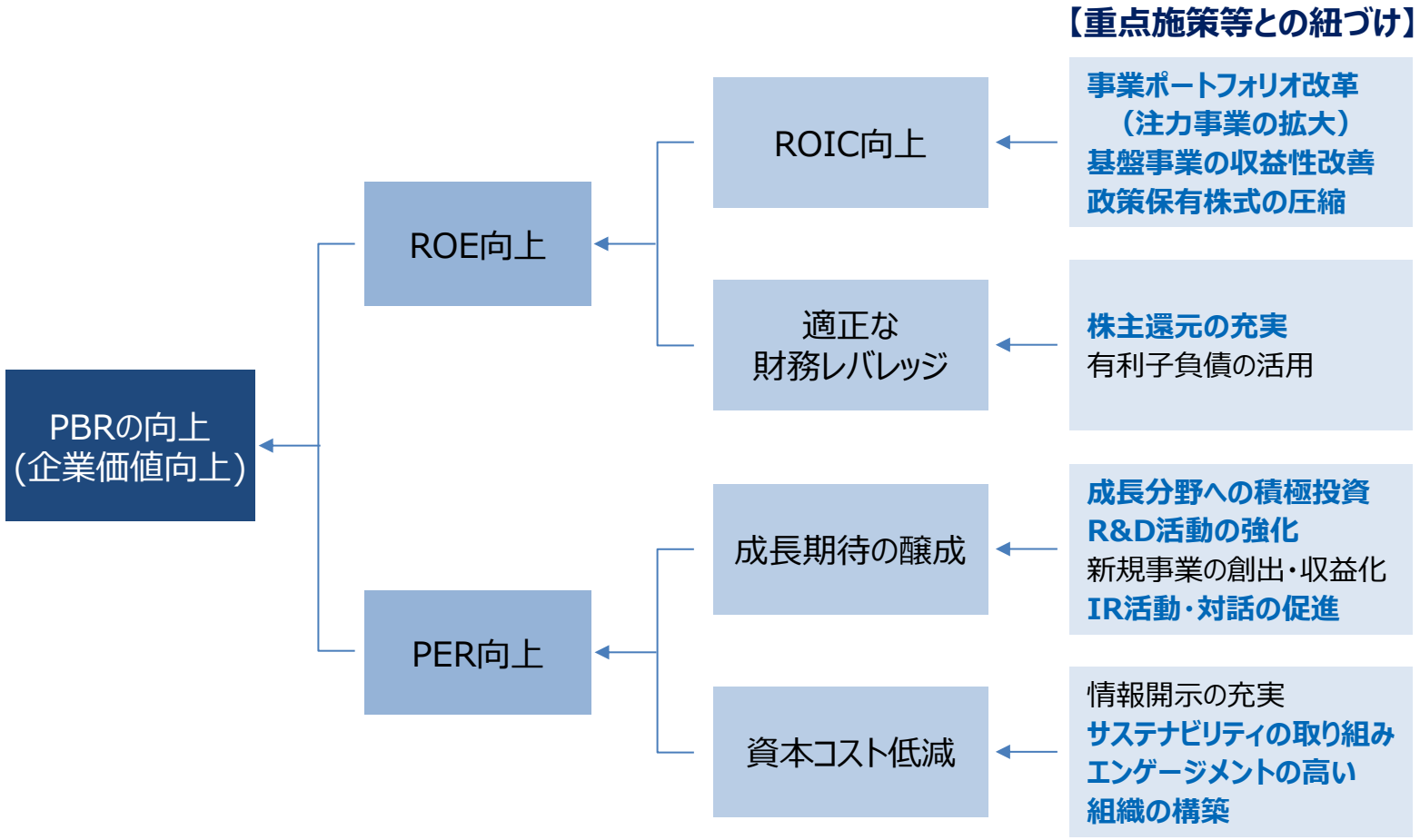
Q. 昨今、人的資本経営が注目されている中で、エンゲージメントの向上についてどう考えているのか？

A. 「Accelerate'27」の重点施策にも、社員が働きやすさとやりがいを感じられる職場環境の中で、一人ひとりが充実感やポジティブな感情を持ち、**企業価値の持続的向上に主体的に貢献する「エンゲージメントの高い組織の構築」**を目指しており、具体的には①DE&Iの推進による組織の活性化、②社員の活躍推進、③多様な人材の確保と育成・定着を中心とした各種施策の実施を進めています。外部コンサルを使いエンゲージメント調査を実施していますが、**そのスコアも着実に向上してきています。**

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

資本収益性の向上に向けた取り組み

引き続き、事業ポートフォリオ改革や政策保有株式の圧縮、株主還元の充実などを通して、企業価値（PBR）の向上を目指す



※**青文字**は特に影響（重要度）の大きいもの

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.


KURABO

免責事項

将来情報に関するご注意

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。

また、本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を 目的としたものではありません。本資料への当社に関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではございません。

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

Appendix

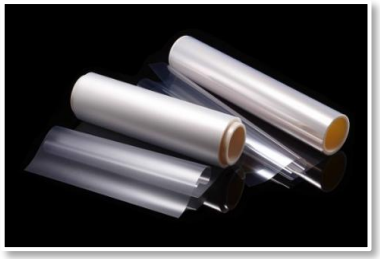
Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

各事業の主なトピックス

多様な事業領域で、新たな成長機会を創出

各事業の強みを活かし、市場ニーズに応える製品開発や事業領域の拡大を推進

化成品事業



半導体製造工程向け高機能フィルム

半導体の高性能化・微細化に対応する高機能フィルムを開発。独自技術を強みに、拡大する半導体市場の需要を捉え、国内外での事業拡大と企業価値向上につなげます。

化成品事業の詳細はこちら

繊維事業



ブレバノ・プロバン

難燃素材「BREVANO」「PROBAN」を基に、顧客や異業種企業との共創による製品開発を推進。現場ニーズに応える高付加価値製品の創出を通じ、ユニフォーム事業の領域拡大を図ります。

共同開発の詳細はこちら

環境メカトロニクス事業



水族館新設工事

水処理設備や配管システムの設計・施工ノウハウを活用し、水族館の安定運営に貢献。本案件を実績として蓄積し、水族館や養殖分野など新たな事業領域の開拓につなげます。

環境メカトロニクス事業の詳細はこちら

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

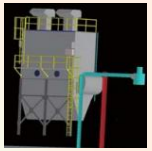
R&D 6つのコア技術

KURABO

- 化成品事業
- 繊維事業
- 環境メカトロニクス事業

■ 高速3Dビジョンセンサー
Kurasense





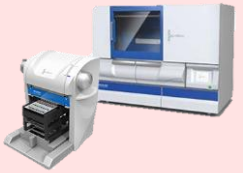
■ 三次元写真計測
Kuraves



■ 鉄道軌道・路面検査・
トンネル検査システム



■ 基板外観検査装置
BBMASTER



■ 核酸抽出装置
QuickGene、GENE PREP STAR

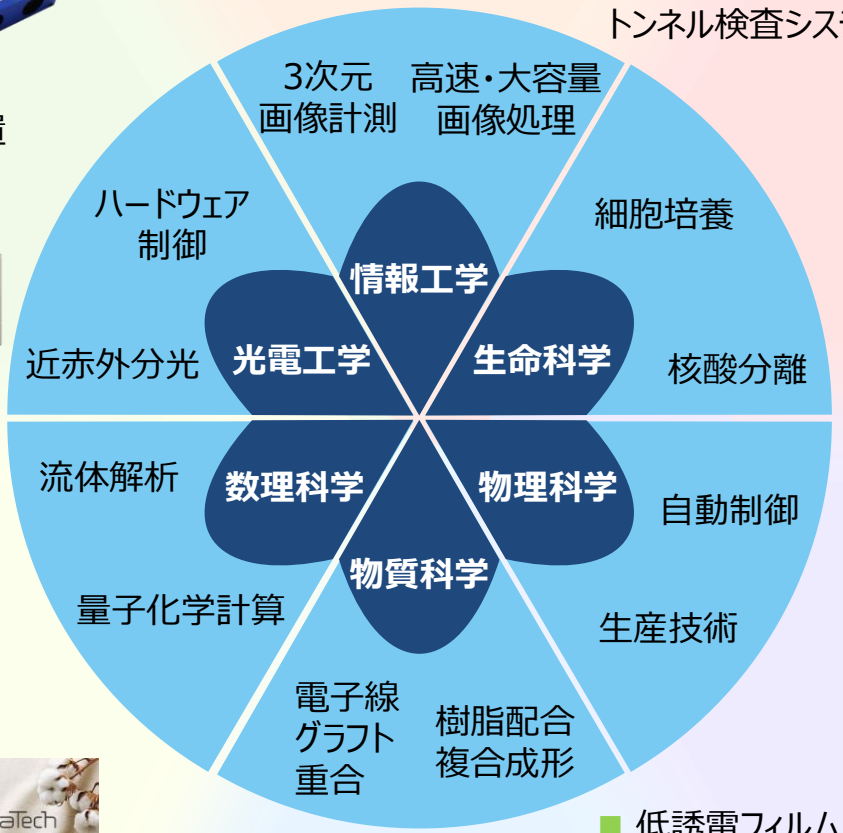


■ 液体成分濃度計
■ 膜厚計



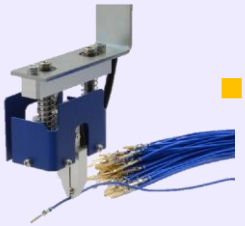


■ 撹拌脱泡装置
MAZERUSTAR



■ 徳島バイオマス発電所





■ ロボット周辺機器
Kurabotte



■ 機能性コットン
NaTech

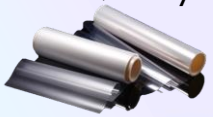
■ 低誘電フィルム
EXPEEK、Oidys



■ 熱可塑性炭素
繊維複合材



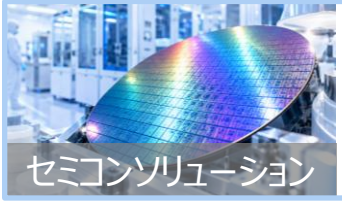
■ 金属イオン除去フィルター
KURANGRAFT



© KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

R&D活動の強化

R&Dの中核となる技術研究所では、次世代の主力事業として推進している4つのプロジェクトを、事業部との連携のもとで本格化していく

コア技術		プロジェクト	研究開発費	製品
数理科学	●計算化学 ●流体解析	 ロボットセンシング	8億円	高速3Dビジョンセンサー Kurasense 路面検査・トンネル検査システム ロボット周辺機器 Kurabotte
物理科学	●メカ制御 ●生産技術	 セミコンソリューション	13億円	低誘電フィルム EXPEEK、Oidys 液体成分濃度計
光電工学	●分光計測 ●回路設計	 ライフサイエンス・テクノロジー	5億円	核酸抽出装置 QuickGene、 GENE PREP STAR
情報工学	●画像処理 ●AI認識	 マテリアル・ソリューション	20億円	機能性コットン NaTech 複合素材
物質科学	●表面改質 ●コンバーティング			
生命科学	●核酸分離 ●細胞培養	その他	14億円	計60億円（3年間累計）

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

サステナビリティに関する基本方針

【基本方針】

持続的な社会の実現に貢献するためには、企業自らが持続的な企業価値の向上を目指さなければならないと考えており、付加価値の高い技術や商品・サービスを創出し、高収益事業を育成・拡大するとともに、当社グループの経営理念である

「私たちクラボウグループは、新しい価値の創造を通じて より良い未来社会づくりに貢献します。」のもと、以下の実践に努める。

① 事業を通じた社会課題解決への貢献
② 地球環境の保全を意識した事業活動の推進
③ 人権の尊重および、働きやすさとやりがいのある職場環境の整備
④ 信頼される企業づくりの推進

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

サステナビリティの取り組み（マテリアリティの特定と主な施策、取り組み・KPI等）

【マテリアリティ】	【主な施策】 ※青文字は売上高の伸びや収益性改善に直接結びつく施策	【主な取り組み・KPI等】
安心・安全で快適な社会の実現	■ デジタル社会の進展に貢献する半導体市場関連製品、サービスの開発と提供 ■ 労働人口の減少対策のためのFA・ロボット事業展開と生産拠点の スマートファクトリー化、QR体制の構築 ■ 革新的な技術や高度な品質を支える研究開発と知財戦略の推進 ■ 安心・安全に貢献する商品の販売拡大	・熊本イノベーションセンター新稼働（半導体製造装置向け高機能樹脂加工品の増強） ・高度化する半導体後工程に向けた機能性フィルムの拡大 ・FA・ロボット事業の売上拡大、生産拠点のスマートファクトリー化 ・特許出願割合 ・インフラ検査（新幹線の軌道材料モニタリングシステム等） ・暑熱作業リスク管理システム「Smart fit」 販売拡大
地球環境への配慮と循環型社会への貢献	■ 環境配慮型商品の拡大 ■ 循環型ビジネスモデルの構築 ■ カーボンニュートラルへの取組み推進 ■ 環境負荷を低減する技術開発 ■ 事業継続計画（BCP）の強化	・機能性コットン「NaTech（ネイテック）」の販売拡大 ・家畜排せつ物処理装置「FUNTO（フント）」の販売拡大 ・アップサイクルシステム「L∞PLUS（ループラス）」の販売拡大 ・再資源化率 ・CO_2排出量の削減
多様な人材の活躍推進と人権尊重	■ 人権教育とサプライチェーン管理の徹底 ■ 多様な人材の活躍推進（DE&I、エンパワーメント） ■ 柔軟な働き方推進、エンゲージメント向上 ■ 安全衛生管理の徹底、健康経営の推進 ■ 自動化、DX推進による生産性向上	・管理職に占める女性労働者の割合 ・女性総合職の配属課比率 ・男性労働者の育児休業取得率 ・エンゲージメント・レーティング（調査会社算出） ・生産拠点のスマートファクトリー化
持続的な成長に向けたガバナンス・CSRの強化	■ コンプライアンス教育の徹底、内部統制の強化 ■ ステークホルダーとの対話の充実 ■ 非財務情報の開示の充実 ■ 資本収益性や株価を意識した経営 ■ 事業ポートフォリオ戦略、経営資源配分 ■ 事業リスク管理の強化	・コンプライアンス活動監査 ・IR説明会の開催、機関投資家との対話促進 ・中期経営計画における目標値の達成 ・成長領域へ経営資源の集中 ・リスクマップの作成

各取り組み・KPIの進捗状況については、統合報告書2026をご参照ください。

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

サステナビリティの取り組み（環境対策）

クラボウグループの長期環境目標

クラボウグループは、政府目標である2030年度にCO_2排出量を46%削減（2013年度比）、2050年度にカーボンニュートラルの達成に向けて、CO_2排出量削減のための推進体制を強化し、具体的な施策を進めてまいります。

（2013年度比）	2013年度 基準	2025年度 実績	2026年度 目標	2030年度 目標	2050年度 目標
CO_2削減量（絶対量）	基準	△50%	△51%	△46%	△100%

取組み　脱炭素社会・資源循環型社会に向けた取組み

●カーボンニュートラルロードマップに基づくCO_2排出量の削減

- ✓ 太陽光パネルの設置（クラボウ徳島工場・三重工場、タイクラボウなど10製造拠点） 合計3,400t-CO_2削減
- ✓ ボイラーのガス化、冷凍機更新（クラボウ裾野工場・群馬工場・鴨方工場、日本ジフィー食品など）合計1,400t-CO_2削減
- ✓ 再生可能エネルギー由来の電力導入（クラボウ本社ビル・東京支社・徳島工場など）合計900t-CO_2削減

●資源の有効活用と再資源化の推進

- ✓ 廃棄物ゼロエミッションの推進（再資源化率） 2026年度目標 97%（前年度実績 96.8%）

●サプライチェーンのCO_2排出量（Scope3）把握

- ✓ カテゴリー１～１５ 2025年度実績 合計614,505t-CO2/年

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

社員一人ひとりが組織に主体的に貢献する「エンゲージメントの高い組織の構築」に取り組む

「Accelerate'27」重点施策④ エンゲージメントの高い組織の構築

①DE&I推進による組織活性化

アンコンシャス・バイアスの一層の理解浸透とハラスメントのない職場づくり、女性・シニア層の活躍推進、障がい者雇用の推進、LGBTQ+の理解促進、外国籍社員の採用

②社員の活躍推進

1. ワーク・イン・ライフの推進：時間外労働の削減、有休の取得促進、工場休日の増加、男性育休取得の促進
2. 人事制度の充実：人事考課によるメリハリのある処遇、管理職賞与制度における連結業績連動化と人事考課加算額の増額、相対評価から絶対評価への変更、評価フィードバックの徹底、新評価制度の導入

③人材の確保・定着・育成

採用チャネルの増加や採用サイトの刷新による採用力強化、エンゲージメント向上施策や従業員持株会補助増加による定着の向上、学習内容の定着と研修プログラムの継続的見直し・高度化

指標	25/3期	26/3期	目標
エンゲージメントスコア（偏差値）	43.6	48.0	55.0（28/3期末）
エンゲージメント・レーティング	CC	B	BBB（28/3期末）
管理職に占める女性割合	4.1%	4.5%	5%以上（28/3期末）
新卒総合職に占める女性割合	37.5%	28.6%	各年度30%以上
経験者総合職採用に占める女性の割合	27.6%	27.8%	定めず
総合職女性の配属課比率	47.1%	53.0%	50%以上（28/3期末）
障がい者雇用率	2.63%	2.78%	法定雇用率以上
外国籍総合職採用数	5名	2名	定めず
月平均時間外労働	8.7ｈ	10.6ｈ	10ｈ未満（28/3期）
有給休暇取得日数	13.1日	14.7日	15日以上（28/3期）
男性の育休取得率	73.9%	78.6%	80%以上
男性の育休14日以上取得者率	65.2%	78.6%	80%以上
総合職採用に占める経験者の割合	64.4%	46.2%	定めず
業務上災害発生件数	6件	9件	0件
健康経営優良法人認定取得（偏差値）	認証(57.1)	認証(58.0)	偏差値60以上
一人当たり社内研修費用	3.5万円	4.3万円	4万円以上

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.